

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		地域自立生活支援事業費						予算事業名		地域自立生活支援事業費					
予 算 科 目		会計	04	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	介護保険法					
				03	03	03	1603	経常経費							
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう						事業の区分		主要事業					
		高齢者が生き生きと安心して暮らせる地域づくり													
		地域包括ケアシステムの構築						担当課係等		介護福祉課 長寿支援係					
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
高齢者の自立と生活の質の確保を図ることができる。								結城市では地域支援事業における任意事業の中の地域資源を活用したネットワーク形成に資する事業に位置付けている。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
日常業務で高齢者と接する介護事業所等に委託。利用者に栄養バランスのとれた昼食を宅配し、食生活の改善と健康保持を図り、安否確認を行う。								結城市に在住する65歳以上の者で次のいずれかに該当する者。高齢者単身世帯、高齢者のみ世帯、高齢者がいる世帯で昼食の用意が困難な者							
								【事業をとりまく環境の変化】							
								高齢者の食事の機会を確保する点から、重要なサービスとなっているため継続的に支援していくことが必要となる。							
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】							
利用者に対して、昼食サービスを提供することにより、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、見守りを行う。				利用者に対して、昼食サービスを提供することにより、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、見守りを行う。				利用者に対して、昼食サービスを提供することにより、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、見守りを行う。							
■事業費															
				R02年度		R03年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	1,398	1,792								
	県		支	出	金	699	896								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	1,535	1,968								
歳入計 (千 円)				3,632		4,656									
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千円)		金額 (千円)									
	10 需用費			282		336									
	12 委託料			3,350		4,320									
歳出計 (千 円) (A)				3,632		4,656									
伸び率 (%)						28.19									
備 考	総合計画 5 9 ページ 予算書 2 8 4 ページ														

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	実利用者数	人	目標	120.00	130.00	140.00
			実績	116.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	延べ配食数	食	目標	11,500.00	12,000.00	12,500.00
			実績	11,166.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	・ひとり暮らし高齢者や調理が困難な高齢者の見守り、栄養改善を兼ねているため
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	・市内の介護事業所を中心に委託しており、高齢者向けの食事の提供や見守りができる ・サービス開始前に利用者の状態を確認するアセスメントを行うことができる
	手段の妥当性	A 妥当である	・コスト、効率面も考えるとこのやり方が妥当である
効率性	コストの効率性 ・人員効率	A 改善の余地はない	・事業所は、日頃からデイサービスなどで提供する昼食を用意している
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	・事業の目的とサービス対象者が決まっているため
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	・高齢者の見守り等に一定の役割を果たしている ・継続的に事業を実施することが大切
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	・高齢者の見守り等に一定の役割を果たしている ・継続的に事業を実施することが大切
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
栄養バランスのとれた昼食を配達し、食生活の改善と健康保持を図り、利用者の安否確認を行っているため、調理が困難な高齢者には特に有効性がある。 課題としては、市民への周知、1日に提供できる数、食器購入、夕飯の対応などが挙げられる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか 高齢者の生活支援の一環として、継続的に事業を実施していく。その中で、利用者や事業所の意見を聴きながら改善を図っていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 方向性の具体的内容 高齢者の栄養改善と見守りとして一定の役割を果たしているが、介護保険サービスによる家族援助や民間業者による多様な配食サービスの参入が増加しており、市の役割について検討する必要がある。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。